

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月30日

山梨県知事 長崎幸太郎 殿

住 所 山梨県甲府市下曾根町3440番地1
氏 名 株式会社シャトレーゼ

電話番号 (055) 266-5151

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 シャトレーゼ 白州工場
事業場の所在地	山梨県北杜市白州町白須大原8383-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	乳製品製造 [産業分類NO. 0914]
②事業の規模	出荷額 23,149百万円
③従業員数	328名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり 別添1

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり 別添2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり 別添3		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり 別添3		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり 別添3
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり 別添3

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり 別添3		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり 別添3		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり 別添3		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり 別添3		

(第4面)

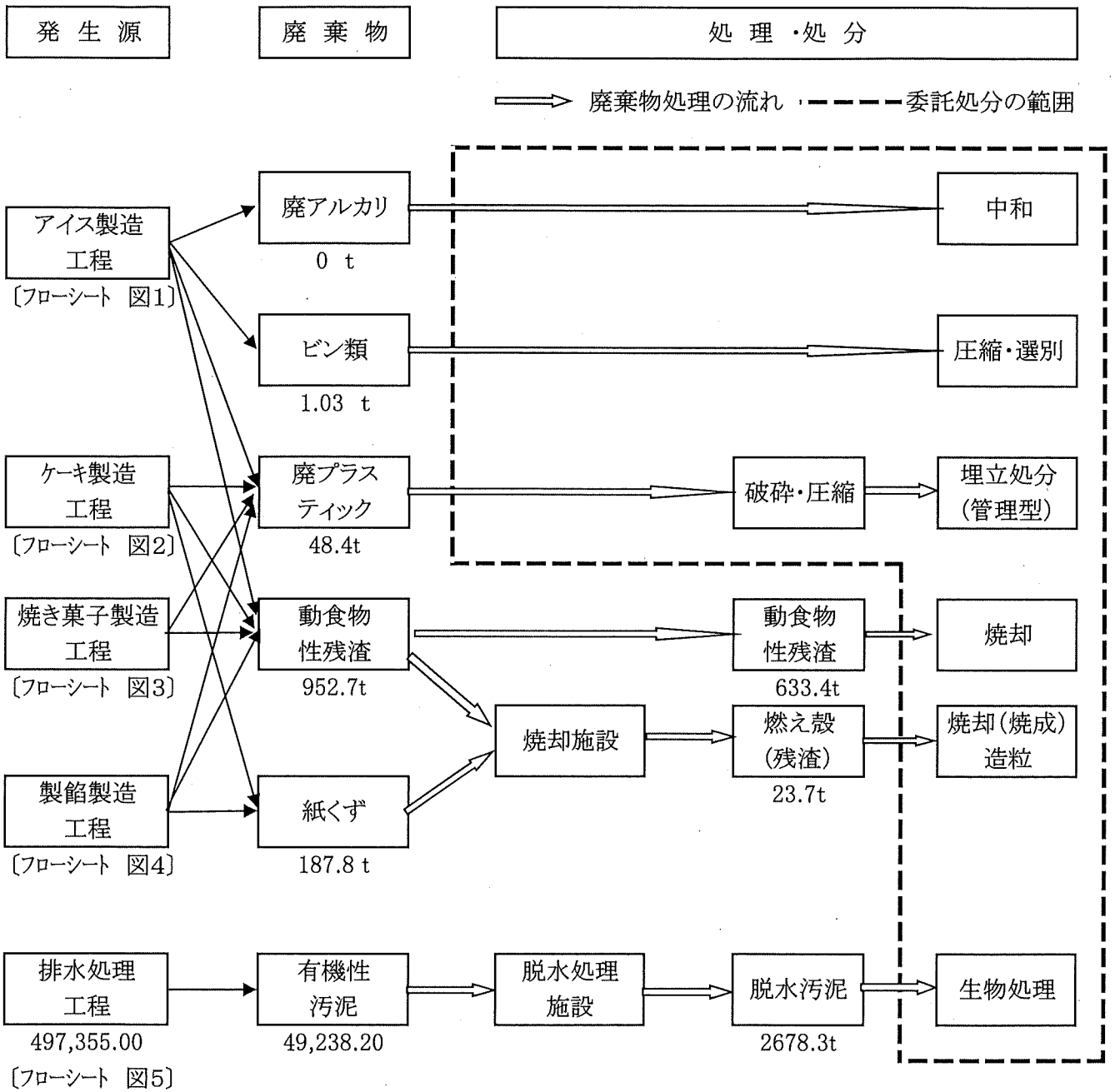
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり 別添3		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり 別添3		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり 別添3		

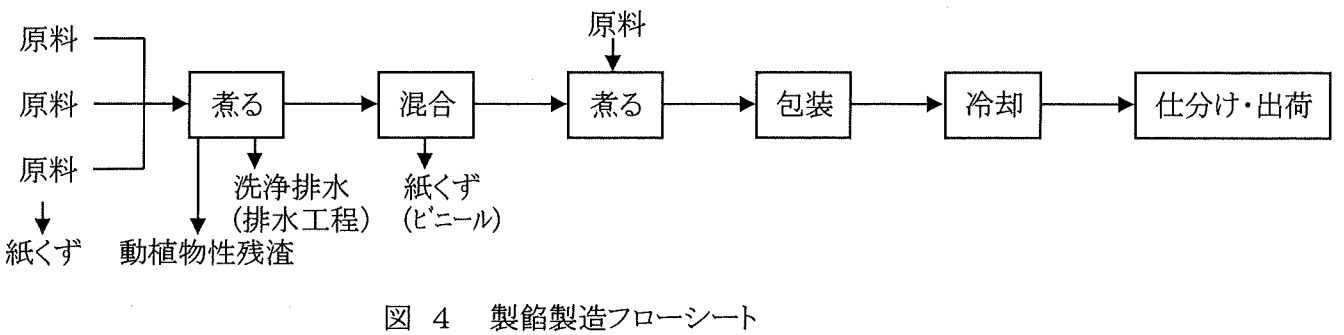
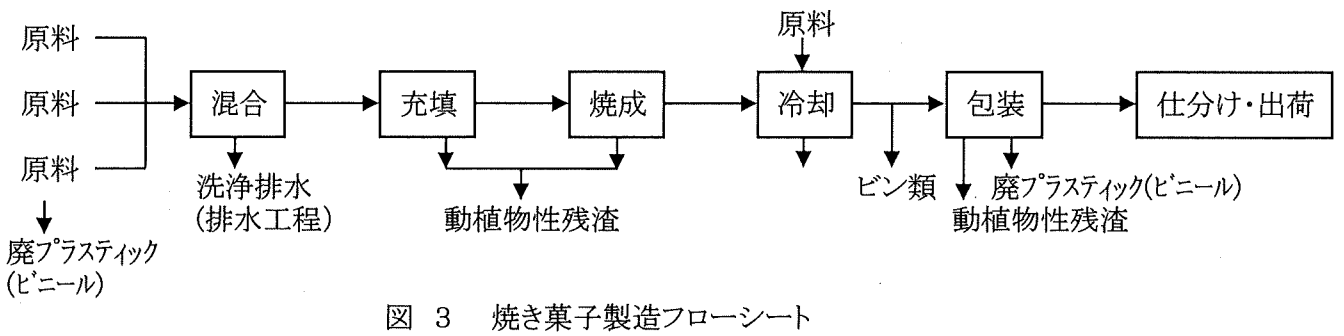
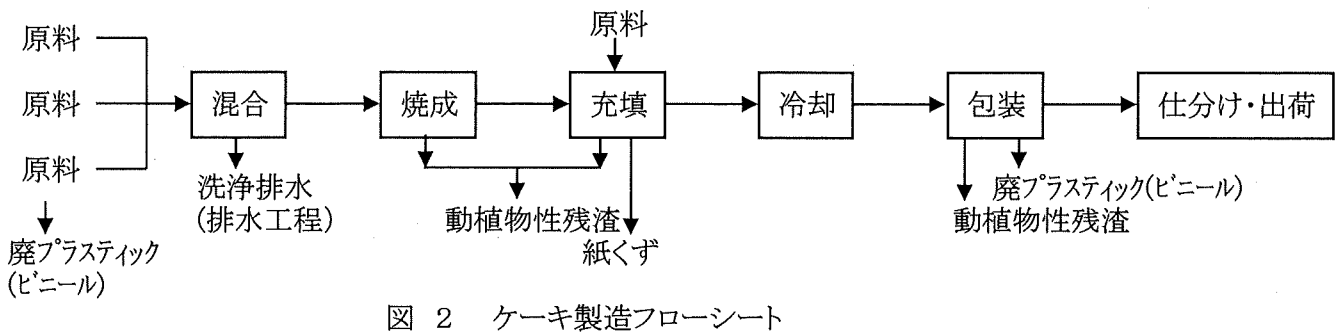
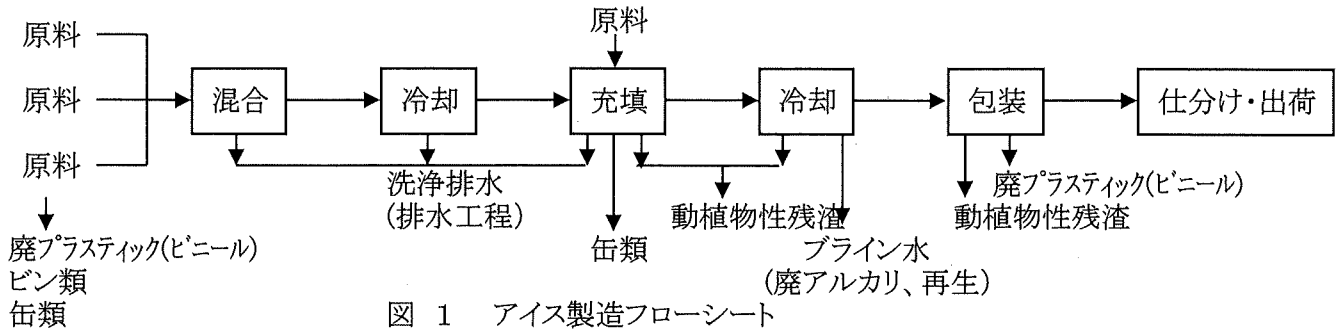
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり 別添3		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 ④産業廃棄物の一連の処理の工程





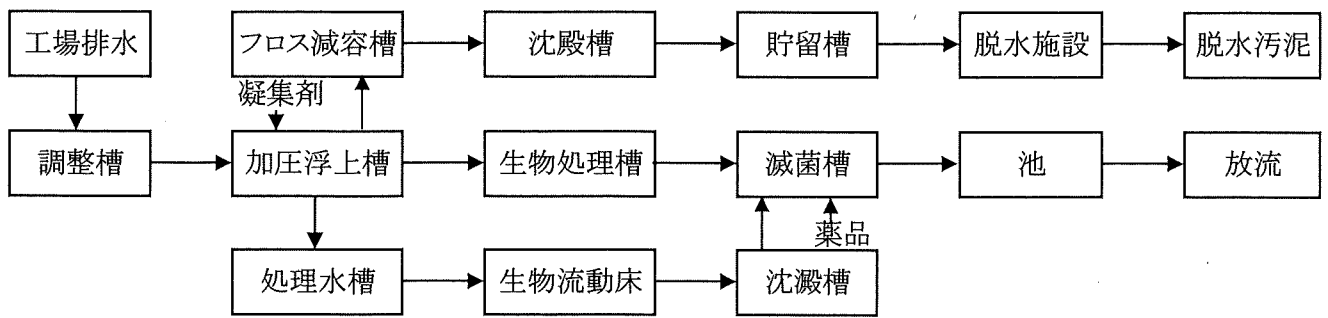


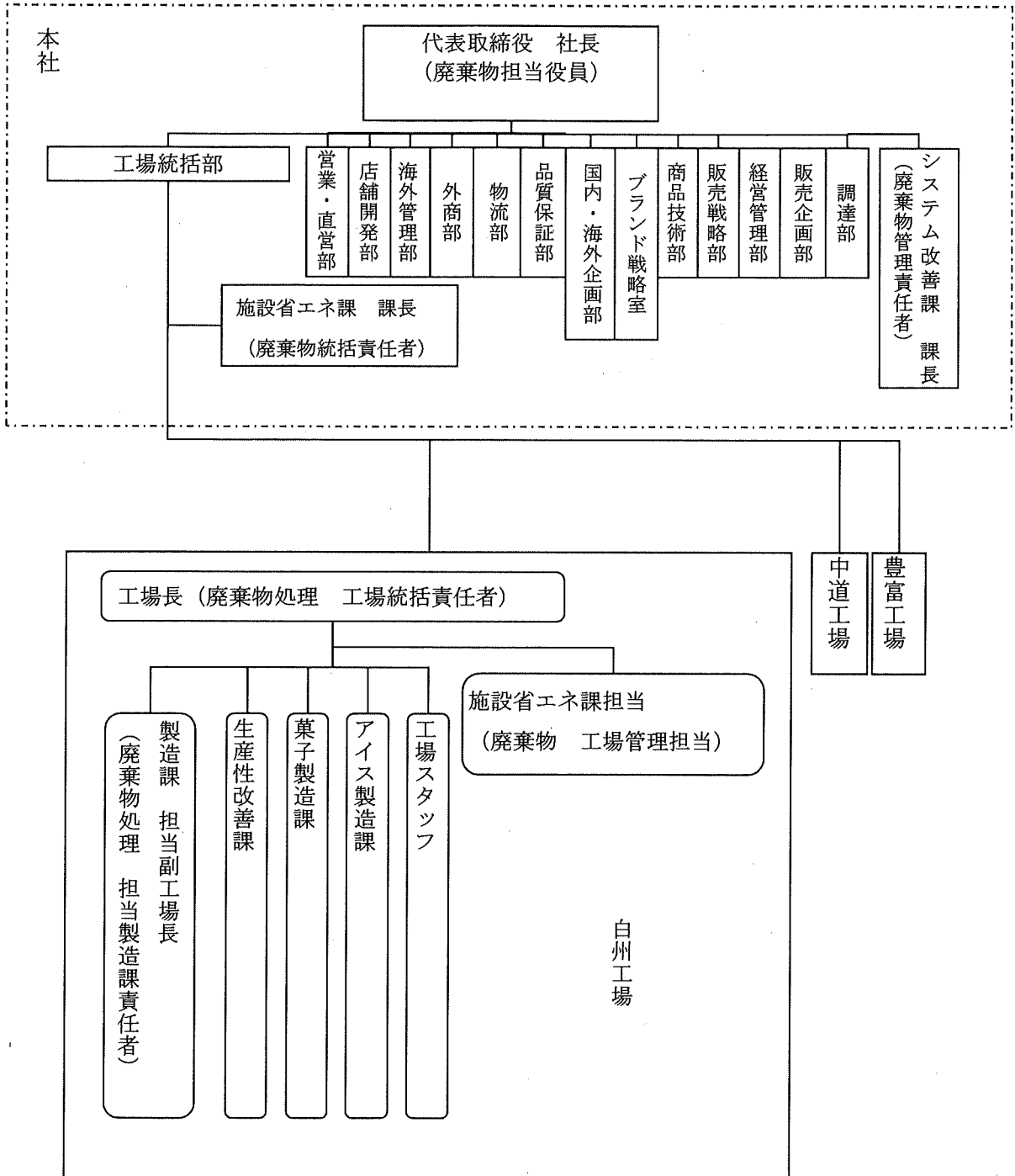
図 5 排水処理フローシート

別添2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び管理組織図

代表	職・氏名：代表取締役 社長	
統括責任者	所属：施設省エネ課 職・氏名：課長	
廃棄物担当	組織名：システム改善課 職・氏名：課長 各工場施設省エネ課 氏名：スタッフ長 組織人数：6名	
役割	統括責任者 (課長)	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物処理方針の策定 ● 廃棄物に関する各種事項の決定、承認
	管理責任者 (システム改善課 課長)	<ul style="list-style-type: none"> ● 処理業者・再利用業者の選定・委託契約の締結 ● 産業廃棄物の処理量把握 ● 産業廃棄物処理状況の確認 ● 産業廃棄物削減活動 ● 従業員に対する教育
	工場統括責任者 (工場長)	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場廃棄物処理方針の策定 ● 工場廃棄物に関する各種事項の決定、承認 ● 工場廃棄物量の把握と改善策の検討
	担当製造課責任者 (副工場長)	<ul style="list-style-type: none"> ● 担当製造課内の廃棄物量の把握と改善策の検討・実施 ● 担当製造課メンバーに対する教育・啓発 ● 他製品に活用する商品開発
	工場管理担当 (施設省エネ課担 当)	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場廃棄物量の把握と改善策の検討・実施 ● 産業廃棄物処理管理表の交付・管理 ● 産業廃棄物処理計画の策定 ● 工場従業員に対する教育 ● 監督官庁への報告 ● 産業廃棄物処理施設の運転・維持管理 ● 廃棄物の分別 ● その他関係する事項

廃棄物管理組織



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2022年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃アルカリ	動植物性残渣	燃え殻
	排出量	49238.2t	48.4t	0t	952.7t	885.3t
	(これまでに実施した取組) 製造ロス防止の指導 汚泥脱水機変更 分別の強化 飼料化 薬品変更 再利用化への指導					
②計画	【目標(2023年度)】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃アルカリ	動植物性残渣	燃え殻
	排出量	49238.2t	48.4t	0t	952.7t	885.3t
	(今後実施する予定の取組) 廃プラ容器回収運用化 減溶菌の見直し・薬品調整 分別の強化 飼料化の強化、アイス廃液処理化の推進 再利用化					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	【前年度(2022年度) 実績】
	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類・・・産廃処理、空容器リサイクル処理引取り 動植物性残渣・・・・・・焼却、飼料化 空 瓶・・・・・・・・・・色分別実施中
②計画	【目標(2023年度)】
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類・・・再利用化、産廃処理、有価引取り 回収運用 動植物性残渣・・・・・・焼却、分別精度を向上し飼料化 アイス廃液化 空 瓶・・・・・・・・・・色分別継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(2022年度) 目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃アルカリ	動植物性残渣	燃え殻
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	(これまでに実施した取組) 廃アルカリ濃度調整後使用					
②計画	【目標(2023年度)】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃アルカリ	動植物性残渣	燃え殻
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	(今後実施する予定の取組) 廃アルカリ濃度調整後使用					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(2022年度) 実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃アルカリ	動植物性残渣	燃え殻
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	46559.9t	0.0t	0.0t	319.3t	861.6t
(これまでに実施した取組) 減溶菌の見直し・薬品調整 膜の併用・メンテナンス洗浄 製造ロスの削減・分別の推進						
【目標(2023年度)】						
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃アルカリ	動植物性残渣	燃え殻
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	46559.9t	0.0t	0.0t	319.3t	861.6t
(今後実施する予定の取組) 減溶菌の見直し・薬品調整 残渣焼却能力アップ 脱水機調整・夜間運転延長・膜の全交換・メンテナンス洗浄 製造ロスの削減・分別の推進・飼料化・アイス廃液化						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(2022年度) 実績】						
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃アルカリ	動植物性残渣	燃え殻	
①現状 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
(これまでに実施した取組)						
【目標(2023年度)】						
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃アルカリ	動植物性残渣	燃え殻	
②計画 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
(今後実施する予定の取組)						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(2022年度) 実績】						
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃アルカリ	動植物性残渣	燃え殻	
全処理委託量	2678.3t	48.4t	0 t	633.4t	23.7t	
優良認定処理業者への処理委託量		48.4t	0 t	633.4t	23.7t	
再生利用業者への処理委託量	2678.3t					
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
(これまでに実施した取組)						
再生利用の検討 中間処理の検討						
【目標(2023年度)】						
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	廃アルカリ	動植物性残渣	燃え殻	
全処理委託量	2678.3t	48.4t	0t	633.4t	23.7t	
優良認定処理業者への処理委託量		48.4t	0t	633.4t	23.7t	
再生利用業者への処理委託量	2678.3t					
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
(今後実施する予定の取組)						
再生利用の検討 中間処理の検討 容器回収運用化 脱水装置薬品調整 膜全交換						

①現状

②計画

自ら行う事業系一般廃棄物の処理施設への搬入に関する事項

① 現 状	【前年度(2022年度) 実績】					
	一般廃棄物の種類	紙	びん	缶	蛍光管	ダンボール
	排 出 量	187.8t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	特にはなし					
② 計 画	【目標(2023年度)】					
	産業廃棄物の種類	紙	びん	缶	蛍光管	ダンボール
	排 出 量	187.8 t	0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組) 包装紙の選別、再生					

許可業者への処理の委託に関する事項

① 現 状	【前年度(2022年度) 実績】					
	一般廃棄物の種類	紙	びん	缶	蛍光管	ダンボール
	排 出 量	0.0 t	1.03 t	268t	0.2 t	268.2t
	(これまでに実施した取組) 分別の実施					
② 計 画	【目標(2023年度)】					
	産業廃棄物の種類	紙	びん	缶	蛍光管	ダンボール
	排 出 量	0.0 t	1.03 t	268t	0.2 t	268.2t
	(今後実施する予定の取組) 分別の継続					

産業廃棄物処理計画における目標値（2023年度）

	汚泥(t)	廃プラ(t)	廃アルカリ(t)	動植物性残渣(t)	燃え殻(t)	合計
排出量	49,238.2	48.4	0.0	952.7	885.3	51,124.6 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	46559.9	0.0	0.0	319.3	861.6	47,740.8 t
自ら埋立て処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0.0 t
						0.0 t
全処理委託量	2,678.3	48.4	0.0	633.4	23.7	3,383.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	0t	48.4	0.0	633.4	23.7	705.5 t
再生利用業者への処理委託量	2,678.3	0t	0t	0t	0	2,678.3 t
認定熱回収処理業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0	0.0 t
認定熱回収処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0	0.0 t